

地域行事「ライブイン愛宕」が開催されました

11月5日(土)、地域行事「ライブイン愛宕」が3年ぶりに実施されました。以前は、全校合唱をさせていただいていたのですが、感染症対策で密を避けるために、学年ごとに音楽の授業で練習した合唱曲を披露しました。白子高校や千代崎中学校の吹奏楽部さんの素晴らしい演奏も聴かせていただくことができ、音楽の魅力を実感した秋の一日となりました。



白子高校さんの演奏



1年生「校歌」「てのひらを太陽に」



2年生「にじ」「キャラクター」



3年生「とどけようこのゆめを」「エーデルワイス」



4年生「広い世界の中で」「夜に駆ける」



5年生「マイバラード」



6年生「スマイル・アゲイン」



千代崎中学校さんの演奏

感染症対策で観客数に制限があったため、会場で生の演奏をお聞きいただけなかったのは残念でしたが、神戸高校放送部さんにYouTubeの限定配信をしていただけたので、保護者の皆様にもご視聴いただけて良かったです。学年ごとに合唱発表をするのは初めての試みでしたが、子どもたちは一生懸命頑張ってくれました。

このような機会を与えてくださった愛宕地域づくり協議会の皆様、愛宕公民館様、応援してくださった保護者様、地域の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今後とも、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

5年生が社会見学に行ってきました

11月11日(金)、5年生児童が、伊賀市へ社会見学に行ってきました。暖かい天気にも恵まれ、楽しく有意義な見学をすることができました。

<見学地と学習の目的>

【伊賀焼伝統産業会館】

・伊賀焼の歴史や仕事の様子を学んで我が国の伝統産業への関心を高めるとともに、伊賀焼づくりの体験を通して伝統産業の技術の高さを体感し、職人さんたちの思いに触れる。

【伊賀上野城】

・上野城の天守閣や展示物、城の立地環境を見学することを通して、我が国の国土の地理的環境や産業への興味関心を高める。

【だんじり会館】

・上野天神祭の映像を観たり、祭りのだんじりや衣装等を見学したりして、我が国の自然と伝統文化の関係を理解し、携わる人々の思いを知る。



伊賀焼伝統産業会館では、伊賀焼づくり体験をさせていただきました。職人さんから指導をいただき、粘土をこね、ひも状にして成形していきました。乾燥、素焼き、釉薬をぬっての本焼きをしていただき、後日、学校まで作品を届けていただく予定です。楽しみです。

伊賀上野城では、天守閣を見学しました。内部は三層となっていました。わくわくしながら急な階段を上っていくと、3層目の四方の窓からは、伊賀盆地が見渡せ、素晴らしかったです。

日本1,2を誇る高石垣を眺めた後は、だんじり会館へ行きました。だんじりと人形の展示は、迫力満点でした。特に、天神祭りの鬼の怖さは泣き出す子がいたほどでした。



1日を通して、集合時刻をきちんと守り、みんなで楽しく過ごせるよう一人ひとりが気

配りもできていて、感心しました。



海岸清掃ボランティア活動が行われました

11月12日(土)、好天に恵まれ、地域づくり協議会主催行事「海岸清掃」が実施されました。たくさん子どもたち、そして、保護者の皆様にも多数ご参加いただき、感謝申し上げます。

愛宕小玄関前、原永第二集会所で受付が行われ、地域づくり協議会の環境防災安全部長様からお話をいただいた後、海岸に出発しました。清掃の仕方について説明を受け、堤防を下りて海岸に入りました。



ちょうど前日に、行政の委託を受けた業者が重機を入れて清掃を行ったようで、ペットボトル等のゴミは少なかったのですが、発泡スチロールの細かく砕けたものやマイクロプラスチックといったゴミは除去されずに残っていました。魚などが餌と間違えて食べ、食物連鎖によって

私たち人間の体内にもそれらの成分の一部が入ってしまうかもしれないと考え、他人事ではありません。環境について、今後もみんなで考え、行動していかないといけないと改めて思いました。

海岸には、大きな流木もありました。飛騨地方から木曾三川によって流れてくることもあるそうです。クルミの実もありました。上流にクルミの木があったのでしょうか。



集まったゴミは、地域づくり協議会や地域の役員さんが、集めて処分してくださいました。

年2回、委託業者による海岸清掃が行われるそうですが、地域で清掃をしなければ、半年間はゴミが放置され溜まっていくこととなります。子どもたちの郷土への愛情を育てるために、そして、環境を守る主体者としての意識を育てるために、これからも地域による「海岸清掃」に、みんなで取り組んでいきたいと思えます。主催して下さった地域づくり協議会の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

久しぶりに授業参観を実施できました

11月15日(火)、実に3年ぶりに授業参観を実施することができました。昨年度、そして本年度1学期も、授業参観の計画はしていたのですが、ちょうど新型コロナウイルス感染拡大の時期と重なり、なかなか実施できずにいました。3年生以下の子どもたちにとっては、小学校初の授業参観で少し緊張している様子も見られましたが、担任の教員やクラスの仲間と一緒に楽しく学習に取り組んでいました。

平日にも関わらず、保護者の皆様にもたくさんご来校いただきました。お子様を見つめる愛情いっぱいの眼差しがどの教室でも見られ、嬉しく感じました。



学校運営協議会の委員さんにもご参観いただきました。「保護者が学校での子どもたちの様子を知ることが出来る授業参観は、やはり大切ですね。」「今夜は、学校や授業の話で、各家庭が笑顔になることでしょう。」「今後もできる限り授業参観を実施して、保



護者と教員がしっかりとつながり、家庭教育・学校教育を互いに充実させていってほしい。」といったご意見をいただきました。

お忙しい中、ご来校いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

「スクリーンタイムの削減について考える会」

11月15日(火)、PTA家庭教育学級「スクリーンタイムの削減について考える会」が、多目的室で開催されました。

鈴鹿市教育委員会教育支援課から講師として天野先生をお招きして、大変有意義なお話を伺うことができました。



インターネットには、いいところもたくさんありますが、架空請求・なりすまし・個人情報の流出・いたずら投稿・ネットいじめ、といった危険がいっぱいあります。家族や友だちまで巻き込んで、大きな大きな代償を払わなければならない、ということもあり得ます。また、有害な画像を閲覧したり、いじめの加害者側になってしまったり、生活習

慣が乱れたり、家族の会話が減ったりする等、健やかな成長が妨げられることも心配です。インターネットが身の回りにあることが当たり前の時代の子育ては、どのように行えばよいのでしょうか。

まず必要なことは、保護者や学校が、子どもたちを取り巻く現代の環境をしっかりと知るということです。今のゲーム機は、オンラインで世界中の人とつながることが可能で、ボイスチャット機能により、子どもたちは見ず知らずの人とも会話が可能です。ネットのサイト閲覧もできるそうです。

動画投稿サイトに写真をたった1枚アップするだけで、写真に付随している位置情報や撮影時間まで、不特定の人に知られてしまいます。自宅で撮った写真なら、自宅の場所を公開したことになってしまうのです。友だちと一緒に移った写真を上げれば、その人も危険にさらすことになります。

SNSでは、言葉を慎重に選び、何度も読み返してから送信しないと、意図しない誤解を招いて友達関係を損なったり、誹謗中傷の対象になったりすることもあります。

そうした危険を、端末を与える前に、しっかりと子どもに話して聞かせ、理解させる必要があります。その上で、子どもと丁寧に話し合っ



使用する際のルールを一緒に決めることが大切です。親が勝手に決めては、不満をもち、目を盗んでルールを破るようになります。そして、年齢や発達段階に応じたルールの見直しも、子どもと一緒にしていきましょう。いつかは、子どもが自分で判断できるようにならないといけないからです。

さらに、子どもをしっかりと見守り、困ったときの相談相手になりましょう。親の見守りこそが、最高のフィルタリングなのです。

講師先生から、「スマホ18の約束」や、文部科学省動画サイト「情報化社会の新たな問題を考えるための児童生徒向けの教材」等も、ご紹介いただきました。参加された保護者の皆様には、子どもたちが安心して健やかに成長できる生活環境づくりを、ご家庭だけに留まらず、PTA、地域全体に広げていただければ有難いです。

学校も、子どもたちがインターネットやSNSの危険について学ぶ機会を設け、スクリーンタイム削減に向けた取組を進めてまいります。冬休みにご家庭にお願いしました「親子読書」もその一環です。冬休みに、ご家族でぜひスクリーンタイム削減について話し合っただけければと思います。

正門横花壇にビオラを植えていただきました

11月9日(水)、学校支援ボランティアをしていただいている野津さんご夫妻に、学校正門両側の花壇にビオラの苗を植えていただきました。

野津さんには7年ほど前から、学校花壇のお世話をいただいています。



植える前のビオラのポット苗を見せていただくと、とても元気で葉数も花数も多いのでびっくりしました。選りすぐりの苗をわざわざ車で出かけて買ってきてくださったのだそうです。



公民館の方々も手伝ってくださり、一つひとつのポットを丁寧に植えていきました。これから寒さも厳しくなっていきますが、冬の間も花を咲かせ続け、春には土が見えないほど大きくなって、たくさんの花でいっぱいの花壇になっていくことでしょう。

お花の成長を見るという楽しみが、毎日の学校生活に加わりました。野津さん、今回も本当にありがとうございました。



中庭の温州みかんを収穫しました



11月15日(火)の昼休みに、6年生児童が、中庭で温州ミカンの収穫作業を行いました。愛宕小の中庭には、温州ミカン、ハ朔(ハッサク)、夏ミカン、キンカンの4種のミカンの木があります。昨年度の6年生も、収穫した温州ミカンを持ち帰り、自宅で秋の味覚を楽しみました。

本年度も、温州ミカンの木が、6年生の児童数以上のミカンを実らせてくれました。きれいなオレンジ色に染まったミカンの実を、一つ一つ丁寧にハサミで切り取って、かごに入れていきました。

下級生の子たちが、うらやましそうに収穫の様子を見ていました。「みんなも、6年生になったら食べられるからね。」6年生が優しく声をかけて、なだめていました。来年も、6年生の人数分以上の実をつけてくれるよう、肥料をあげてしっかりお世話をしていこうと思います。

